

授業科目 地域・在宅看護方法論 I	担当講師名	単位数 1	時間数 15	履修年次・前 / 後
				1年次/後期
講義のねらい	1 地域包括ケアシステムと地域福祉活動の実際を理解する。 2 コミュニティアセスメントとコミュニティ支援の実際を理解する。 3 保健行動理論を理解し地域看護対象者への活用方法を理解する。 4 地域看護活動における対人支援活動の実際を理解する。			
授業形態	講義・演習			担当及び時間
講義内容	1 保健行動理論と健康行動を生み出す力 1) 行動をとりまく要因と保健行動 2) 健康教育の基盤となる理論 3) 保健行動理論と保健行動モデル 4) セルフケア不足理論 5) ヘルスリテラシーと自己効力感 6) コミュニティエンパワメント・コミュニティアズパートナーモデル プリシードプロシードモデル			8
	2 鹿屋市の概要 1) 鹿屋市健康づくり計画の理解 2) 鹿屋市地域包括支援センターの理解 3) 鹿屋市社会福祉協議会の理解			2 2
	3 対人支援の基本と対人支援技術の実際 1) 健康相談の実際 2) 健康診査の実際 3) 家庭訪問の実際 4) 健康教育(個別指導と集団指導)			3
教科書	地域・在宅看護論の基盤(1) (医学書院)			
参考文献	1 基礎からわかる地域・在宅看護論(照林社) 3 地域療養を支えるケア(1)(メディカ出版) 3 必要に応じて資料を配付する。			
評価方法	終講試験 1・3 50点、2 50点 合計100点			
備考欄	教員とのコンタクトは授業終了後又は終講時に案内する。			